

3類型	農林水産物	通巻番号	1 - 19 - 007
地域資源名	かぼちゃ、キャベツ、トマト、馬鈴しょ	認定日	平成19年10月12日
地域	北海道伊達市	所管省庁	農林水産省 経済産業省

事業名: 伊達野菜を活用したスープの開発と販路開拓

会社名: 株式会社 ローヤル
 連絡先: TEL: 0142-23-4888
 FAX: 0142-25-1232

所在地: 北海道伊達市末永町33番地3
 H P: <http://www.date-royal.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・「環境に配慮し安全で安心な特性」を持つ伊達地域の地域資源・野菜4種と「日本一といわれる多種多様な伊達野菜(49種類:72品目)」を組み合わせ、「高級感、季節感、健康・安心」などにこだわりを持つ人が、こだわりのある贈答品として贈ることができる「バランスよく、栄養を摂取しやすく、食べやすい」高級スープの新商品を開発する。
- ・地域資源の野菜4種と70品目を超える多種多様な伊達野菜との「無限の組み合わせ」の可能性が本事業の地域資源の強みである。その強みを活用して、国際料理コンテストで金賞を受賞した当社ホテルの料理長が、手作りスープの商品ラインを開発する。



【地域資源】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・新商品は大手ホテルの缶詰スープと比べるとブランド力は無いが、素材としての伊達野菜の強みのほか、一流シェフによる手作り、季節感のある商品の提供、「顔が見える・中身が見える」という健康・安心面での訴求など、競争優位を十分に確保することが可能である。

市場性

- ・市場ニーズの最近のキーワードは、「高級志向、健康(栄養、ダイエット、有機野菜)、利便性、季節性、個食、朝食」である¹⁾。こうした市場ニーズを検討し、本事業では、「高級、季節、健康・安心」を基本コンセプトとしたスープを開発する。
- ・スープ市場の規模は、カップスープ市場の急成長やスープ専門店の競争激化などを背景として拡大を続けており、2004年度の市場規模は756億円(対前年比103%)であった²⁾。

販路

- ・富裕層や健康・環境に関して意識が高いお客様を主たるターゲットとし、まずは札幌を中心とした道央圏の百貨店ルートの開拓、地域周辺の道の駅、空港、フェリー港などの有力土産店などの開拓を行う。そして、知名度が高まった段階で首都圏の販路を開拓していく。

地域資源における関係事業者との連携

- ・地域の7人の女性生産者グループ(ベジタブルママ)と連携し安全安心な素材を確保するほか、「LLPスローフードファクトリー」、「豊かなまち創出協議会」、「NPO法人だて観光協会」など地域内の各種組織と連携し、伊達の豊かなまちづくりに貢献する。



【試作スープ】

1) インターネット検索等の分析結果による
 2) http://www.ajinomoto.co.jp/press/2005_07_07_1.html